

令和4年度第3回広島市環境審議会 議事要旨

1 日時

令和5年3月20日（月）午後2時～午後3時30分

2 場所

広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席委員

西嶋 渉（会長）、田中 貴宏（副会長）、大浜 裕香、沖村 理史、落田 健作、谷本 俊満、
鉄村 忠基、内藤 望、中西 伸介、原 公子、廣田 一貴、村田 和賀代、森 可久
（以上13名）

4 次第

(1) 開会

(2) 議事

議題 広島市地球温暖化対策実行計画（案）について

報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和3年度）について

報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和3年度）について

(3) 閉会

5 公開・非公開の別

公開

6 傍聴人の人数

0名

7 会議資料

- 令和4年度第3回広島市環境審議会 次第
- 令和4年度第3回広島市環境審議会 配席表
- 広島市環境審議会委員名簿
- （議題）広島市地球温暖化対策実行計画（案）
- （資料1）広島市地球温暖化対策実行計画（素案）に対する市民意見募集の結果について
- （資料2）広島市地球温暖化対策実行計画（素案）からの主な変更点について
- （報告1）第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和3年度）について
- （報告2）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和3年度）について
- （参考資料1）広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況一覧表
- （参考資料2）市域の温室効果ガス排出量（令和元年度確定値及び令和2年度速報値）

8 議事要旨

発言者	発言要旨
西嶋渉会長	・ 本日の議題は、「広島市地球温暖化対策実行計画（案）について」である。それでは、事務局の方から説明をお願いします。
温暖化対策課長	【議題 広島市地球温暖化対策実行計画（案）について説明】
西嶋渉会長	・ それでは、事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
村田和賀代委員	・ 68ページに、ブルーカーボンについての説明としてコラムをつけているが、図表が不鮮明であるため、変えたほうが良い。
温暖化対策課長	・ 鮮明になるよう修正する。
沖村理史委員	・ 細かい誤字脱字等の修正が何カ所がある。後で伝える。
温暖化対策課長	・ 了解した。
中西伸介委員	・ 46ページの図表5－8で、「①省エネルギー対策」の文字が滲んでいる。 ・ 同ページの文章において、「①徹底した省エネルギー対策」とか「②再生可能エネルギーの最大限の導入や利用」とあるように「徹底した」とか「最大限の」といった表現を図表中にも入れられないか。
温暖化対策課長	・ 滲みの件については修正する。 ・ 図表中の文字については、文章を短く表現しているため、このままにさせてもらいたい。
西嶋渉会長	・ 細かい修正については、事務局の方で確認、訂正をお願いします。「広島市地球温暖化対策実行計画」の改定については、基本的には原案のままで答申をさせてもらってよいか。
全体	・ （異議なし）
西嶋渉会長	・ それでは、報告1の「第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和3年度）について」、事務局から説明をお願いします。
環境政策課長	【報告1 第3次広島市環境基本計画に掲げる各施策の方針に関する主な指標等の状況（令和3年度）について説明】
西嶋渉会長	・ それでは、事務局からの説明について、御意見、御質問等はないか。
西嶋渉会長	・ 1人1日当たりのごみの排出量の指標の説明にて、事業系ごみが減少したことが目指すべき方向に向かっている要因だと分析しているが、事業系一般廃棄物と家庭ごみは分けて集計しているのか。
環境政策課長	・ 分けて集計している。
西嶋渉会長	・ 家庭ごみの状況はどうか。
環境政策課長	・ これは新型コロナウイルスの影響だと認識しているが、その影響により生活スタイルが変わり、外出自粛を余儀なくされて身の回りの片づけをする時間が増えたことで、ごみの種別で言うと大型ごみの排出が従前に比べて非常に増えた。 ・ こういったことにより、大型破碎処理施設への渋滞などといったことも発生

発言者	発言要旨
	しており、生活スタイルの変化に伴うごみの排出状況というところにも影響が出ている。 ・ 他には、資源ごみなども大型ごみと同じく生活スタイルの変化に伴って増えている。 ・ 家庭ごみについては、市民の皆様の努力で大きな増減はなく安定傾向であるが、新型コロナウイルス感染症の影響によって事業ごみは大きく減少したのに対して、家庭ごみについては微増・ほぼ横ばいという傾向が続いている。
西嶋渉会長	・ 新型コロナウイルスの影響はあったと思うが、その前から、ほかの市や県もそうだったと思うが、1人1日当たりのごみの排出量は増加傾向にあり、一度大きく下がって、そこから増加傾向となっている。 ・ これもライフスタイルといえばライフスタイルであるが、おむつやペット用シーツなどといったごみの割合が増えてきて、下げ止まっていたり、微増しているという話を聞いている。 ・ そのあたりの要因も確認いただきながら、新型コロナウイルスの状況も改善しており、また違う状況も出てくる可能性があるので、注視いただきたい。
田中貴宏副会長	・ 項目番号47番の救急搬送熱中症患者数がかなり減っているが、要因は何か。
環境政策課長	・ 詳細な要因ではないが、熱中症予防の啓発活動に力を入れており、地道な活動の効果がこの結果につながっているものと認識しているということを消防局から聞いている。
田中貴宏副会長	・ まさに適応が進んでいるということだと思う。年によって気温の変動もあり各年でみれば正確なことがわかったと思うが、市民の適応が進んでいるということであれば非常に良いことだと思う
谷本俊満委員	・ オゾン層の保護に関する指標が49、50、51とあるが、51番だけ上回っているのは何故か。
環境保全課長	・ CFCすなわち、オゾン層破壊物質に関して言うと、市内5か所で定点観測している中では大型機で使われているフロン類が効率よく減っていった。 ・ それ以外ものについてもほとんど減っていったものの、この一つだけが、大きく変わっていない状況であり、原因については不明である。
谷本俊満委員	・ 全体としては減っていった。
環境保全課長	・ そのとおりである。
沖村理史委員	・ CFC113の指標の一番右の欄にフロン類の管理の適正化の推進とあるが具体的にはどういった適正化の推進を行っているのか。恐らく、CFC113は冷媒でも下の方の、カーエアコンの冷媒だったと認識しているが。そうすると、車を廃車する際にいかに適正な管理が行われているのか、というところの対策が必要になるかもしれないと思い、前の質問の関連として、具体的な取組を教えてほしい。
環境保全課長	・ CFC113については、市内5か所の定点観測地点のうち1か所だけもの

発言者	発言要旨
	すごく変動する場所があり、それが数値を上げている可能性がある。 その場所の事業者に対してはフロンの抜き取りの際の状況をしっかり確認するように指導しており、また、抜き取りの際にフロン類が漏れていないかしっかり調査するように、話をしている。
大浜裕香委員	43番の指標に関して、障害者を雇用し、残渣となっていたペットボトルを資源化する取組とはどのような取組か教えてほしい。
環境政策課長	本市においては、平成16年度からリサイクルプラとペットボトルを江波沖にある選別施設で管理しており、ここで対象となるリサイクルプラとペットボトルを集めてきて、リサイクルに回るものを機械によって選別し、再生していくということをやっているが、障害者の方をラインに10人程度増強して、要するに、汚れたものはリサイクルできないが、人の手を加えることで、ラベルをはがしたり、汚れを綺麗にしたりといった取組を障害者の雇用という形で、それを可能にし、よりそのリサイクル率が高まるような取組を始めたとともに障害者の社会参加の促進という目的も加味して取組を開始したところである。
西嶋渉会長	- そのほか、御質問が無いようであれば、最後の議事に移る。 - 報告2の「広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和3年度）について」、事務局から説明をお願いする。
温暖化対策課長	【報告2 広島市地球温暖化対策実行計画に掲げる施策の実施状況等（令和3年度）について説明】
廣田一貴委員	報告資料の3ページの重要行政基評価指標(KPI)の進捗状況について、「横断的取組」の「市有施設への分散型電源の導入件数(累計)」が計画策定時から進んでいないということだが、中期目標の令和12年度までまだ年数があるものの、設備の更新となると大きな工事となってくる。現状での導入の見込みはどうなっているか。
温暖化対策課長	なかなか進んでいないところであるが、中期目標の8件は、8区でそういう取組を実施できたらと考えているところである。分散型電源の導入の定義を、電力融通するなどとしており、各施設に太陽光パネルを設置するなどしているものの、電力融通までは進んでおらず、改定する実行計画では再生可能エネルギーの導入目標も掲げており、今後取り組んでいきたいと考えている。